

※記入例を兼ねています（朱書き部分）

Bタイプ

※「授業科目提供に関する調査票 記入要領」により作成してください。

※単位付与される正規科目の場合は、Aタイプ調査票でご作成ください。

平成29年度研究科横断型教育プログラムへの授業科目提供に関する調査票

●提供可能な授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科等名	農学研究科など (熱帯林ユニット)	横断区分 (該当に○)	文理横断型	開講場所	吉田キャンパス(農学研究科, 東南ア研など)にて開講				
授業科目名 (英訳)	熱帯大規模開発を科学する: オイルパームをめぐる言説と科学			講義担当者 所属・職名・氏名	農学研究科・教授・神崎 護 東南アジア地域研究研究所・教授・石川 登 東南アジア地域研究研究所・教授・岡本 正明 東南アジア地域研究研究所・研究員・内藤大輔 フィールド科学教育研究センター・教授・徳地直子 生態学研究センター・教授・石田 厚 アフリカ地域研究資料センター・助教・佐藤宏樹						
配当学年	学部 修士 博士後期 専門職	提供可能 コマ数	5コマ	開講年度・開講期	後期	曜時 限	火5限 (16:30-18:00)	授業形態	講義・演習	使用言語	日本語・英語
【授業の概要・目的】											
【研究科横断型教育の概要・目的】											
<p>本科目では、熱帯林消失の主要な原因の一つとされているアブラヤシの大規模プランテーションの拡大を例にして、大規模な熱帯での開発を、熱帯林と生物多様性保全、開発途上国の経済的発展、地域社会の持続的な発展といった異なる視点から分野横断的に分析する。これにより、分野横断的・俯瞰的な視点から地球環境問題の一つである熱帯林減少の問題を理解してもらう。さらに教員の講義終了後に、受講者に異なるステークホルダーに扮してもらいディベートを行う。これにより、講義内容を自ら分析し整理し発信することが求められるとともに、問題の解決にあたって異なるステークホルダー間が協働することの重要性を理解してもらう。</p> <p>担当教員の講義は、生態学、資源植物学、社会学、経済学などの異なる側面から、意図的に異なる立場に立った授業を構成してもらうことで、通常のオムニバス講義ではない、相反する立場からの情報を学生にインプットする。これにより、現実の社会で起きているステークホルダー間の意見と彼らにより提出される科学的な証拠がいかに多様なものを含んでいるのかを体感してもらい、問題解決の難しさも実感してもらう。</p>											
【到達目標】											
<p>熱帯大規模開発の現状とその経済効果と問題点を多面的に理解できる能力を身につける。 分野横断的・俯瞰的な視点から地球環境問題を論じる能力を得る。</p>											
【授業計画と内容】											
5回の授業のうち最初の4回は講義。その後2~3週間のグループワークののちにディベートを実施する。											
<p>(1) 授業の導入とオイルパームとプランテーションの説明 5回目のディベートへいたる授業の流れの説明(神崎) オイルパームプランテーションの拡大の歴史、資源植物としての説明(神崎) インドネシアにおけるアブラヤシ拡大の政治的背景(岡本)</p> <p>(2) オイルパーム大規模プランテーションがもたらす生態的な破たん 生態系の破たん(徳地) 動物多様性からみた破たん(佐藤) 植物多様性からみた破たん(石田)</p> <p>(3) オイルパームと地域社会(石川) オイルパーム産業とサプライチェーン(内藤)</p> <p>(4) 学生のディベート班構成とグループワークの説明とサポート(神崎・内藤) 資源植物セクター 産業セクター 自然保護セクター 生態学セクター など4班程度にわたる</p> <p>2から3週間のグループワーク</p>											

(5) 全教員と受講者によるディベートと総括

各班に割り当てられた立場に基づいたディベートを実施。討論を通じて、分野横断型の解決策探求の重要性を認識してもらおうとともに、それぞれの班の主張は誰に対する利益を念頭に行われていたかを振り返る。

Disciplinary, Multidisciplinary, Transdisciplinary について議論

〔履修要件〕

熱帯林に対する関心をもっていれば、専門分野にかかわらず歓迎する。

〔学修証授与の要件〕

出席と最終回のディベートに向けたグループワークへの貢献と参加を総合的に評価する。

〔教科書〕

授業時間中に資料を配布する。

〔参考書等〕

授業時間中に指示する。

〔授業外学修(予習・復習)等〕

グループワークが必須。

〔その他(オフィスアワー等)〕

担当教員のオフィスアワーについては、KULASIS を参照。